

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2017年6週の県全体の定点当たり報告数は、5週の45.27から減少し31.85となった。2週連続で減少したものの報告数が多い状態が続いており、今後も流行状況に注意が必要である。

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所全ての保健所管内で減少し、君津(46.69)、松戸(46.16)、印旛(41.67)、船橋市(35.24)、習志野(32.50)が多い。

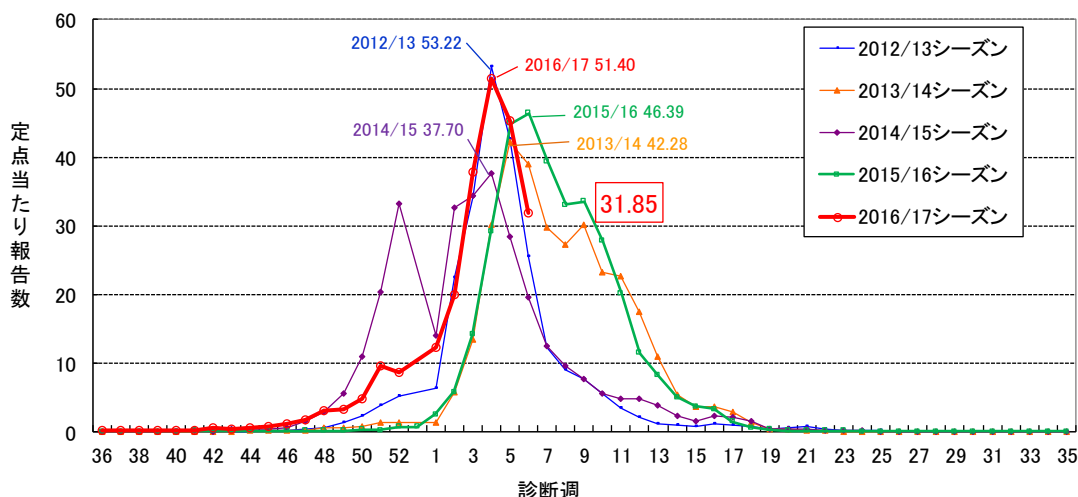
2017年6週の年齢群別報告割合は、5～9歳28.1%、10～14歳18.6%、0～4歳17.3%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳24.6%、10～14歳18.8%、0～4歳15.5%が多かった。

2017年6週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、6,650例中A型6,261例(94.2%)、B型361例(5.4%)、A and B型8例(0.1%)、A or B型20例(0.3%)であった。A型の報告数及びB型の報告数は、両者とも前週から減少した。2016/17シーズン合計では、47,903例中A型46,138例(96.3%)、B型1,551例(3.2%)、A and B型33例(0.1%)、A or B型181例(0.4%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)

URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



#### インフルエンザ

